

説明書・同意書・問診票

検査予約日 年 月 日

氏名 様 島根県済生会江津総合病院

生年月日 年 月 日 〒695-8505 島根県江津市江津町1016-37
TEL：(0855) 54-0101

【MRI検査問診票】 下記に該当する可能性はありませんか？☐チェックしてください。

a 心臓ペースメーカー留置	☐ 無 ☐ 有	b 人工内耳	☐ 無 ☐ 有
c 妊娠中またはその可能性がある	☐ 無 ☐ 有	d スtentなどが留置後2か月以内	☐ 無 ☐ 有
e 事故により体内に金属がある	☐ 無 ☐ 有	f 脳動脈瘤クリップ	☐ 無 ☐ 有
g 人工心臓	☐ 無 ☐ 有	h 人工関節	☐ 無 ☐ 有
i 閉所恐怖症	☐ 無 ☐ 有	j 刺青、アートメイク（眉、アイライン）	☐ 無 ☐ 有
k 開胸手術（胸骨リング）	☐ 無 ☐ 有	l その他の体内金属（ ）	☐ 無 ☐ 有

a～d重大な事故の可能性が高く検査禁忌です。 e～l主治医と相談が必要。（金属製医療器具は安全性を医師が確認いたします。）

【造影MRI問診票】 必要に応じガドリニウム造影剤を使用いたしますが、下記の質問に答えてください。

a	これまでにMRIの造影剤を使用したことがありますか？	☐ はい ☐ いいえ
b	aで「はい」とお答えになったかたにお伺いいたします。いつ頃ですか？	（ 年頃）
	その際に副作用（吐き気・発熱・発疹・蕁麻疹など）がありましたか？	☐ はい ☐ いいえ
	他院にて副作用と言われている、その他の症状があれば記入してください。 （ ）	
c	気管支喘息がありますか？	☐ はい ☐ いいえ
d	アレルギー体質・疾患がありますか？（薬・食べ物・アトピーなど）	☐ はい ☐ いいえ
e	重篤な腎機能障害はありますか？（透析されている方は原則禁忌）	☐ はい ☐ いいえ
f	下記疾患がありますか？ ☐ 緑内障 ☐ 前立腺肥大 ☐ 重篤な心疾患 ☐ 糖尿病 ☐ 甲状腺機能亢進症 ☐ 出血性大腸炎 ☐ 麻痺性イレウス ☐ ブスコパンに対し過敏症の既往 ☐ 褐色細胞腫 ☐ グルカゴンに対し過敏症の既往 ☐ 糖尿病	

年 月 日 医師署名

私は上記のものから説明を受け、その必要性和偶発症について納得しましたのでMRI検査、造影検査、鎮
痙剤の使用に同意いたします。

年 月 日 ご本人または代理人署名

【医師記入欄】

ブスコパン	☐ 可 ☐ 不可	グルカゴン	☐ 可 ☐ 不可
ボースデル（MRCP飲用造影剤）	☐ 可 ☐ 不可	（MRCP 依頼時のみ）	

MRI検査・造影MRI検査説明書

【MRI検査について】

MRI検査（磁気共鳴画像診断）とは、強い磁石と電波を使って全身各部の断面の写真を撮影し病気を診断する検査です。検査時間は30分程度ですが、検査内容によっては1時間近くかかることもあります。詳しくは別紙『MRI検査を受けられる方へ』をご一読ください。

【MRI検査の注意事項】

- ・ 次のような方は検査ができない場合もありますので、かならず検査前に申し出てください。
 1. 心臓ペースメーカー、刺激電極、人工内耳などを体内に入れている方。
 2. 体内に脳動脈瘤クリップや人工骨頭・関節、歯科インプラントなどの金属が埋め込まれている方。
 3. 血糖測定装置をつけている方。
 4. 妊娠をしている方およびその可能性のある方。
 5. 閉所恐怖症など、狭いところが苦手な方。
 6. 刺青、アートメイクをされている方。
 7. その他 金属が体内にある方。
- ・ MRIは強力な磁気と電磁波を使用する検査ですので金属類に注意が必要です。金属が含まれている衣服やアクセサリー、お化粧品などがある場合、安全に検査を行うことができません。
★安全な検査のため、検査前にメイクを落とす必要があります。可能であれば検査当日は
お化粧品をお控えください。必要な方はお化粧品道具などをご持参ください。

例

- ◎ 時計、眼鏡、ベルト、ネックレス、指輪、ワイヤー・ホック・チャックなどの金属の付いた服や下着
- ◎ リライブシャツやヒートテックなどの特殊素材の服
- ◎ つけまつげ、つけ爪、ネイル、コンタクトレンズ、ヘアピン、ピアス、イヤリング、ウィッグなど
- ◎ 入れ歯、湿布、エレキバン、カイロなど
- ・ 検査当日の安全確認により、検査をお断りする場合がありますのでご了承ください。

【造影MRI検査を受けられる方】

MRI検査ではMRI用造影剤を使用することにより病気の診断に非常に有用な効果を発揮する場合があります。ただし同造影剤においては以下のような副作用が報告されています。

①軽い副作用：嘔気・熱感・動悸など。基本的に処置を要しません。	（頻度的には100人に1人程度）
②重い副作用：呼吸障害・血圧低下・意識障害など。通常処置を要し、場合によっては後遺症を残します。	（頻度的には 1万人に1人程度）
③非常にまれですが病状・体質によっては死亡する場合があります。	（頻度的には100万人に1人程度）

- 造影剤は静脈注射、鎮痙剤は筋肉注射を行います。
- 造影剤や薬などで過去にアレルギー反応、副作用があった方、喘息・アトピー・アレルギー体質・重篤な肝障害・重篤な腎障害の患者様においてはこれらの副作用の頻度が高くなりますので造影検査は不可と判断される場合があります。
- 検査中になんらかの異常を自覚されましたら、医師・看護師・技師に教えてください。迅速な処置が行なえるように準備しておりますのでご安心ください。
- 同日夕方または後日など遅発性の副作用が出現する場合があります。検査後、別紙をお渡しいたしますのでご一読ください。

MRI検査を受けられる方へ

MRI検査（磁気共鳴画像診断）について

MRI検査を安心して受けていただくための簡単な説明です。

この用紙とMRI予約票を必ずお読みください。

1 MRI検査とはどんな検査？

MRI装置により造られる強力な磁場（磁石）の中に体を入れて、体内から出てくる電波を画像化（写真）する検査です。いろいろな角度からの体の断面写真が得られ、診断に大変役立つ検査です。CTとの大きな違いは放射線被ばくがないことです。



MRI検査室イメージ



脳の断面像

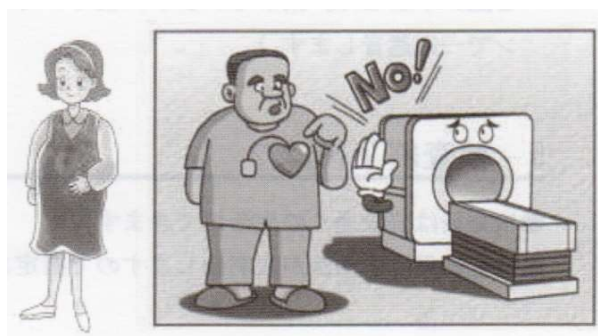


脊椎の断面像

2 MRI検査を受ける際の事前の注意事項

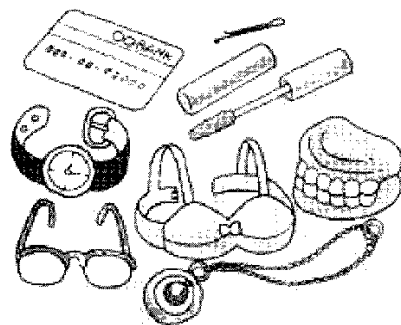
MRIで使われる磁石や電波は、普通の場合は人体への影響はありません。ただし、次のような方はMRI検査を受けられないことがありますので、必ず事前にお知らせください。

- 下記に該当する場合は検査が受けられません。
 - ◆心臓ペースメーカー・刺激装置を留置されている方
 - ◆人工内耳
 - ◆妊娠中またはその可能性がある方
 - ◆ステントなどが留置後2ヶ月以内の方
- 下記の方でMRI対応の金属と判定できないと検査は受けられません。
 - ◆事故により体内に金属がある方
 - ◆脳動脈瘤クリップ・心臓人工弁・人工関節などの医療機材が体内にある方
- 閉所恐怖症など狭い場所が苦手な方
- 刺青、アートメイクは変色、火傷、または絵が崩れる可能性があります。



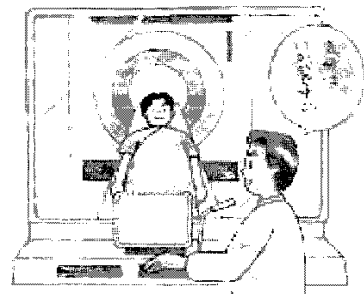
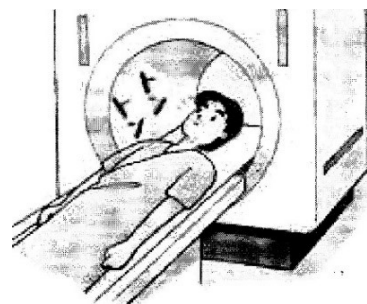
3 検査前の準備

- 下記の物は検査前に必ず取り外しておいてください。
 - ◆ 金属類：腕時計、メガネ、鍵、財布、ベルト、安全ピン、装飾品（指輪、ヘアピン、イヤリング、ピアス、ネックレスなど）
 - ◆ 金属のついている下着：ブラジャー、スリッパなど
 - ◆ 入れ歯、エレキバン、カイロ（使い捨てカイロを含む）、コンタクト、ウィッグなど
 - ◆ ニトロダーム（経皮吸収貼布剤）、湿布などの貼布剤
- 下記の物は検査室に持ち込まれると故障、またはデータが消失する可能性があります。絶対に検査室内に持ち込まないでください。万が一、下記の物を持ち込み、使用不能となりましたら、一切の責任を負いかねます。よろしくお願い致します。
 - ◆ 電子機器：補聴器、携帯電話など
 - ◆ 磁気カード類： キャッシュカード、クレジットカード、診察カード、通帳など
- 化粧品の中には金属を含んでいる物があり、火傷の可能性があります。検査当日は控えていただくか、検査前に落としてください。
- 必要があれば、検査衣に着替えをしていただきます。



4 検査開始、検査中のお願い

- MRIの検査時間は通常30分程度ですが、検査内容によっては1時間程度かかることもあります。
- 検査担当者の指示に従って、検査台の上に寝てください。
- 検査中は痛みを伴いませんので、検査中は動かないでください。
- 検査中は検査担当者とマイクを通していつでも会話ができます。また、検査中に異変があればブザーを押していただければ担当者が認識しますので、安心してください。
- 検査によってMRI用造影剤を静脈から注射することがあります。この注射は検査する部位をはっきり写す目的で使用します。副作用は極めて少ない薬ですが、検査中万一気分が悪くなった場合にはお知らせください。
- 検査中は、トントントンというような連続音が聞こえてきますが心配いりません。音を軽減させるためにヘッドホンを使用します。動きに弱い検査のため、動かないように寝ていてください。



5 検査終了後は？

- 検査後は普段通りの生活ができます。
- 検査結果は主治医が説明致しますので指定された日時に来院してください。